



赤が美しい夕日

この季節になると、夕日の赤が鮮烈に。郷愁を誘います。



園児の稲刈り体験

一斉に稲刈りが始まる秋。稲刈り体験をする園児の賑やかな声が響きます。



夕日に輝くススキ

茜色の夕日が路端のススキを輝かせ、秋の訪れを告げます。



Nishiki life

Autumn

四季を慈しむ

光・風・季節の匂いを
楽しみ尽くす。
それが、郷愁。

日 に日に朝晩の空気が冷たくなつていく秋、町は黄金の頭を垂れる稲穂で埋め尽くされます。十月、一斉に刈り込まれ稲株を残した田んぼの風景に、伝統農法の「掛け干し」が姿を現します。

人吉球磨の気候が最後の仕上げを行う「掛け干し」。数百年前より続くこの農法は、未だ人の手によってしか作ることが出来ず、その手間から、高齢化の進む農村ではその姿を消しつつありました。しかし今、その農法によって生み出される「お米」の美味しさに、都市部からの需要が高まっています。

子どもの頃に一度は手伝ったことのある「掛け干し」の風景は、まさに「ふるさと」そのもの。私たちの手で、未来まで絶やすことなく繋ぎ、守り抜きたい誇りある農村の風景です。

自然体が美しい

Nishiki

